

市民が創るまちづくりプロジェクト【白島地区】

～住民が自ら考え、行動し、実行するまちづくりプロジェクト

【参加団体】白島地区社会福祉協議会、白島商店会、町内会、消防団、広島青年会議所 など

地区の状況	<ul style="list-style-type: none">■中区の北側に位置し、太田川と京橋川に囲まれた緑豊かで閑静な住宅街■平成27年にJR新白島駅が完成し、JR山陽本線とアストラムラインの交通結末点として毎日多くの乗降客が利用■新白島駅では、地区社会福祉協議会や白島商店会などが協力してイベントを開催■令和6年、中央公園に開業予定の新サッカースタジアムから近く、将来多くの来街者が見込まれるエリア
取組内容	<p>新サッカースタジアム建設による大きな環境変化に適応していくことが期待されている中で、住民や事業者など白島地区で生活する人々にまちづくりに主体的に関わってもらうことを目的に、令和3年9月、一般社団法人広島青年会議所が中心となり「市民が創るまちづくりプロジェクト」が発足。</p> <p>「学生層」「企業層」「子育て層」「シニア層」から各5名ずつ、合計20名のメンバーを募り、住民へのアンケート等により要望が多かった「つながりを育む防災」をテーマにした取組の企画・実施を行うため、メンバーで話し合いを重ねた。</p> <p>各層から出されたアイデアの中から、シニア層が考えた「防災クイズラリー・炊き出し訓練予行会」の実施が決定。当初は、白島地区の住民全員が参加できるよう企画する予定だったが、コロナ禍で大人数が一度に集まるイベントは困難と考え、コロナが収束した時に開催できるよう予行会として実施。</p> <p>運営についても、ポスター制作などの広報は学生層、当日設営は子育て層というように役割分担をすることで、全員が主体的に関わることができる仕組みとした。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>【プロジェクト会議（オンライン開催）】</p><p>第1回 令和3年9月26日（日）</p><p>第2回 令和3年10月3日（日）</p><p>※上記以外に、実施に向けた準備のための部会ごとのミーティングを開催</p><p>【防災クイズラリー・炊き出し訓練予行会】</p><p>日時等：令和3年11月14日（日） ときわ公園ほか</p><p>参加者：プロジェクトメンバーのほか白島地区社協役員など43名が参加</p><p>内容：クイズを解きながら町内を巡るクイズラリーや炊き出し用品の展示等</p></div>
活動による効果	<ul style="list-style-type: none">●普段まちづくりに携わることのない人たちが集まり、地域の課題について考えたり、イベントを企画したりすることで、まちづくりに主体的に関わることができた●参加者と協力しながら、クイズで防災の知識や危険個所の情報の習得が行えた●終了後のアンケートではメンバー全員が「今後もまちづくりに関わることを行いたい」と回答し、93%が「次年度以降まちづくりとしてやりたいことを抱いている」と回答。当事者としてまちづくりに参加することで自分たちのまちに興味・関心を持ち、積極的にまちづくりに関わりたいというコメントが寄せられた●イベントを「予行会」とすることで、次へ繋がる取組となった●会議はオンラインで開催するなど、コロナ禍でも工夫次第でまちづくり活動を行えることが実感できた
活用した支援制度 行政の支援	区役所職員がアドバイザーとしてプロジェクトに参加し、防災や市補助制度などを助言



▲オンライン会議では画面越しに活発に意見交換がされた



▲地図を見ながらチェックポイント巡り、クイズを解く参加者



▲ときわ公園を拠点に開催